

2-3 道路・交通現況の整理

1) 道路現況

- ◆国道の改良率が高いが、4車線区間は横手地域内の一部のみである。
- ◆旧市町村間を連絡する主要地方道、県道等は、改良率が低く、1車線の区間も存在する。
- ◆都市計画道路は、長期的未着手箇所（20年以上未着手）が多くなっている。

(1) 車線数

- ・横手市の一般県道以上の路線をみると、秋田自動車道横手 IC 以西、一般国道 13 号の一部で 4 車線となっているが、ほとんどの路線は 2 車線となっている。
- ・また、横手地域と大雄地域を連絡する(主)横手大森大内線、大雄地域と雄物川地域を連絡する(主)湯沢雄物川大曲線等は 1 車線の区間も存在する。

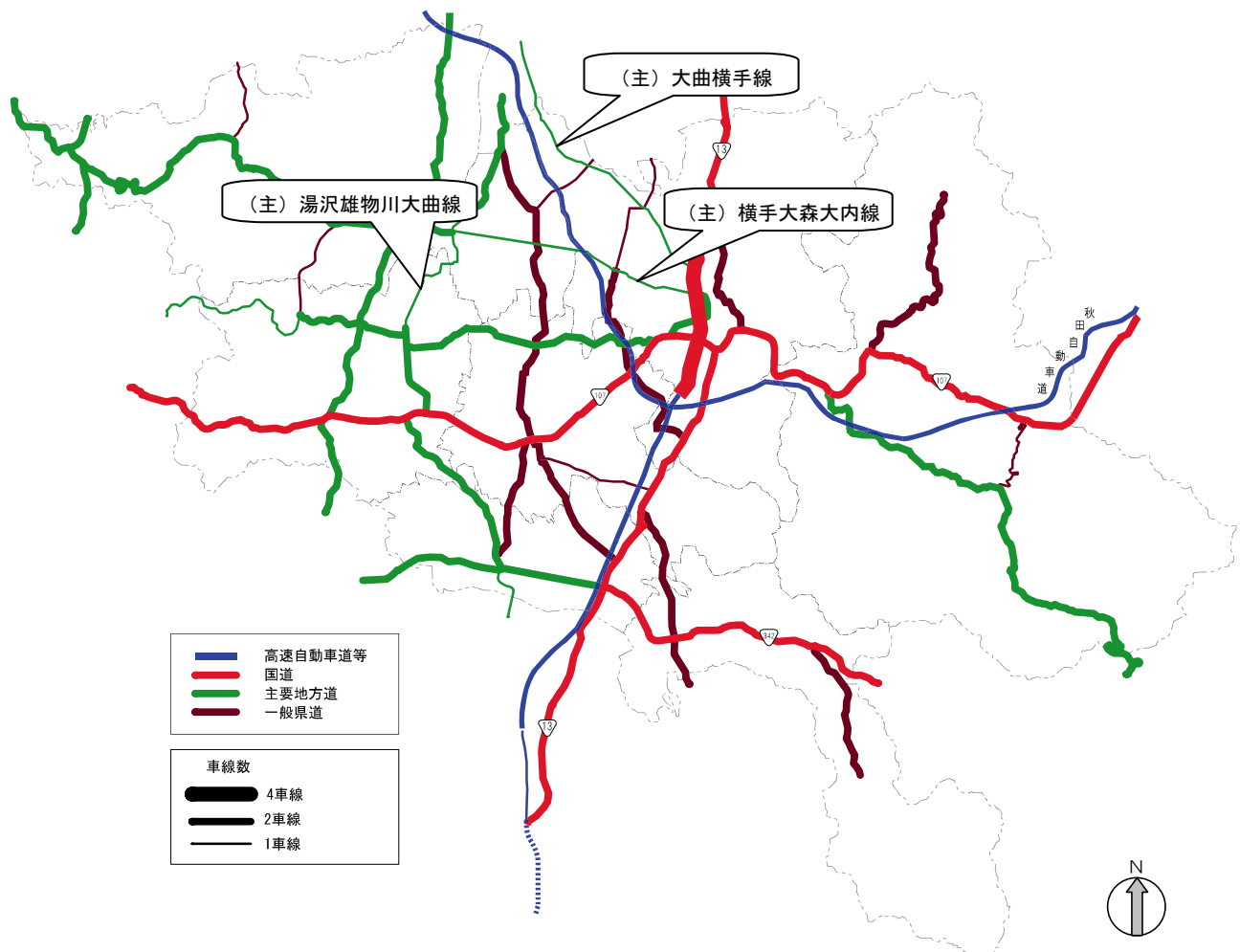


図 2-29 路線別車線数

資料:H17 道路交通センサス

(2) 道路改良状況

- ・横手市の一般県道以上の改良率をみると、国道は概ね 100%となっている。
- ・しかし、横手地域と大雄地域を連絡する(主)横手大森大内線、大雄地域と雄物川地域を連絡する(主)湯沢雄物川大曲線等では改良率が低い。

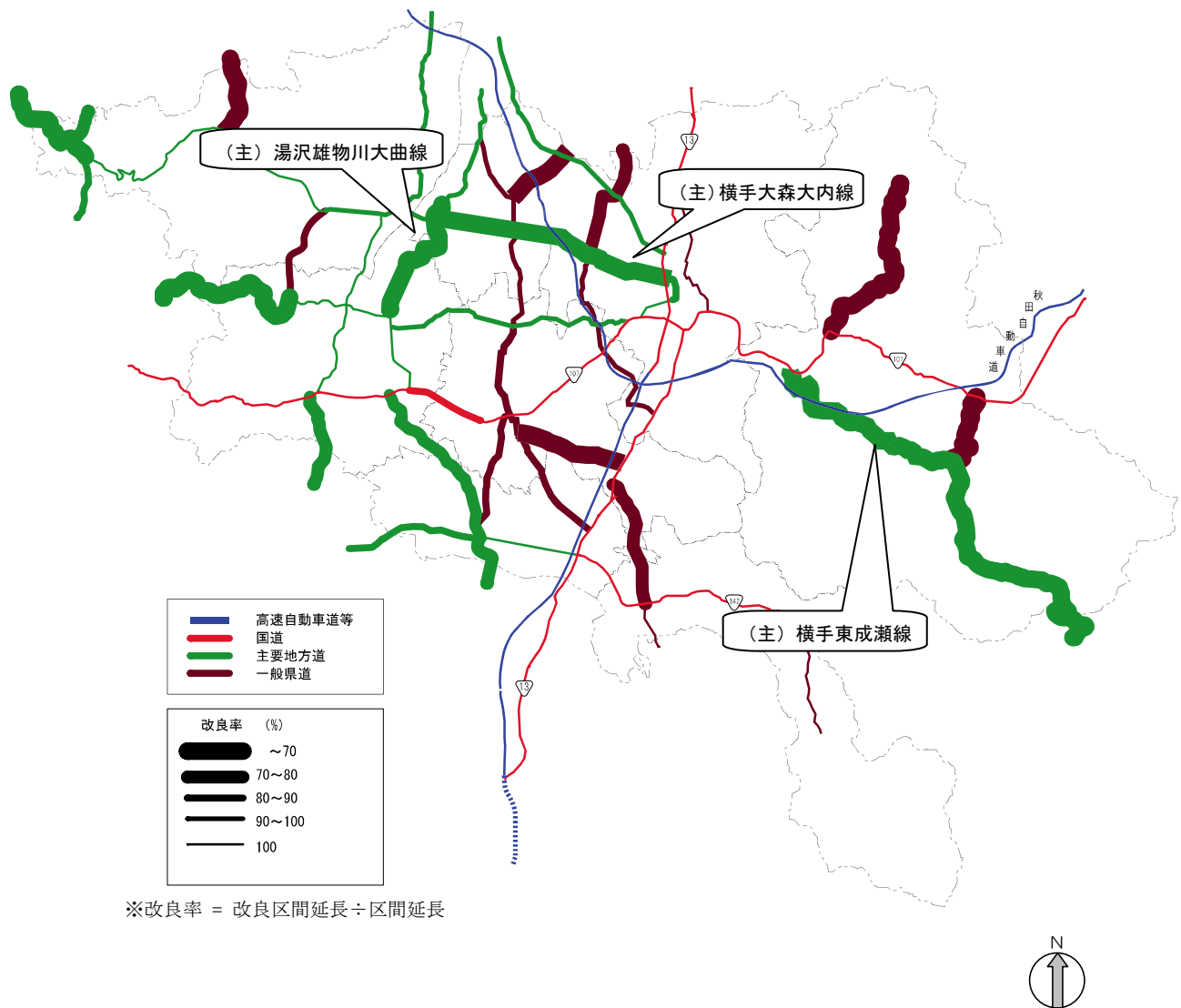


図 2-30 道路改良率

資料:H17 道路交通センサス

(3) 都市計画道路の整備状況

- ・横手市の都市計画道路の整備状況をみると、20 年以上未着手の路線が多くなっている。
- ・(都)中央線、(都)八幡根岸線等は、路線の一部は整備されているが、未整備区間も残り、クランク、隘路区間が存在する。

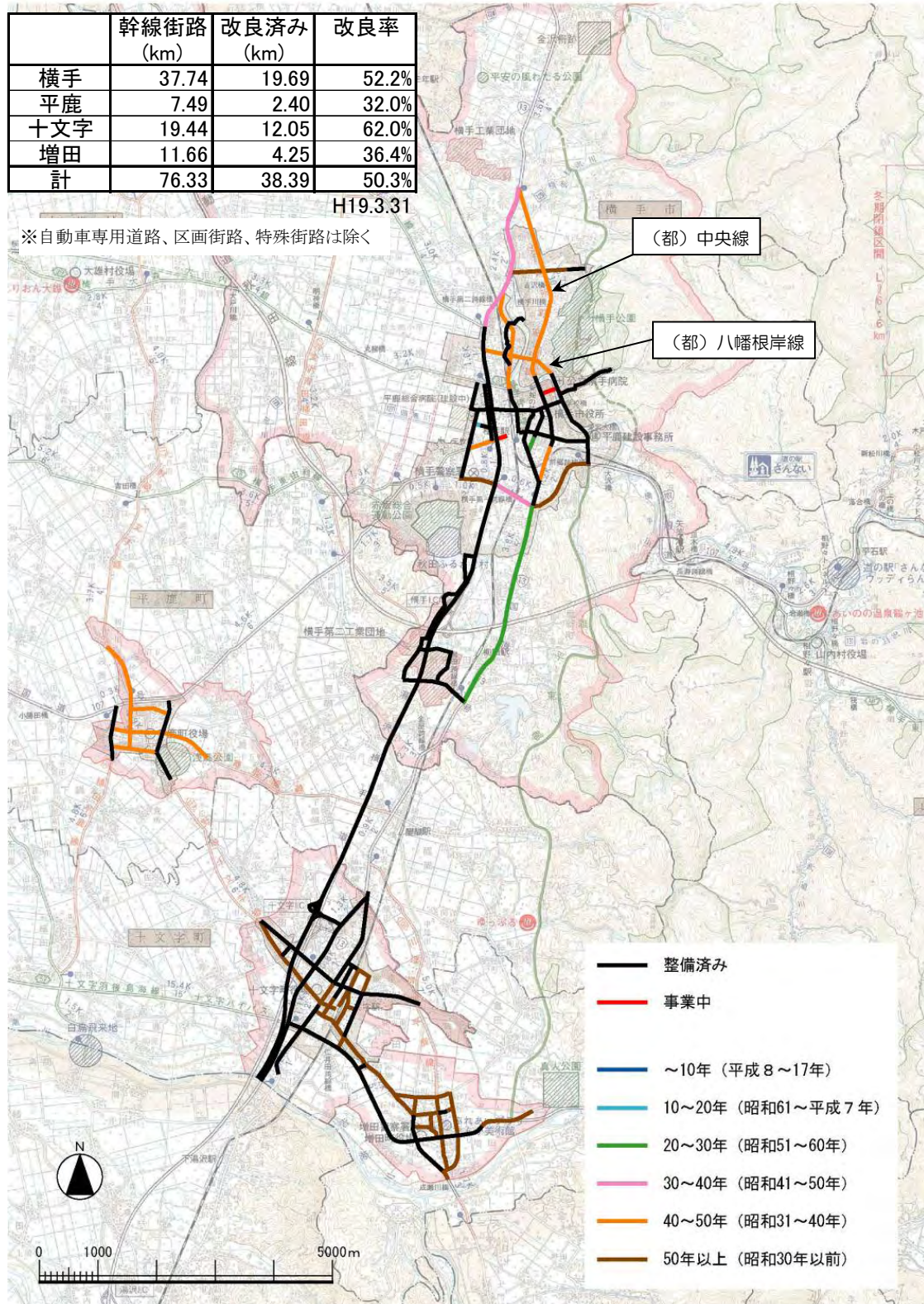


図 2-31 都市計画道路の整備状況



図 2-32 (都)中央線の未整備区間



図 2-33 (都)八幡根岸線の未整備区間

2) 交通現況

- ◆自動車保有台数、1人当たりの発生集中交通量は、年々増加している。
- ◆自動車交通流動は、横手地域を中心とした分布交通量となっている。
- ◆一般国道13号、一般国道107号、横手地域と周辺地域を連絡する路線を中心に12時間交通量が多く、混雑度も高くなっている。
- ◆高齢者の事故件数、死傷者の割合が高い。

(1) 自動車保有台数

- ・横手市の自動車保有台数をみると、秋田県同様、増加傾向にあり、平成2年から平成17年の伸び率は1.34となっている。

表 2-2 自動車保有台数の推移

	H2	H6	H11	H17
市全域	57,233	69,556	74,188	76,652
横手	19,958	24,923	26,834	
増田	4,735	5,723	5,897	
平鹿	8,180	9,935	10,594	
雄物川	6,041	7,236	7,782	
大森	4,244	4,999	5,369	
十文字	7,869	9,485	10,144	
山内	2,850	3,242	3,316	
大雄	3,356	4,013	4,252	

単位:台
資料:道路ポケットブック

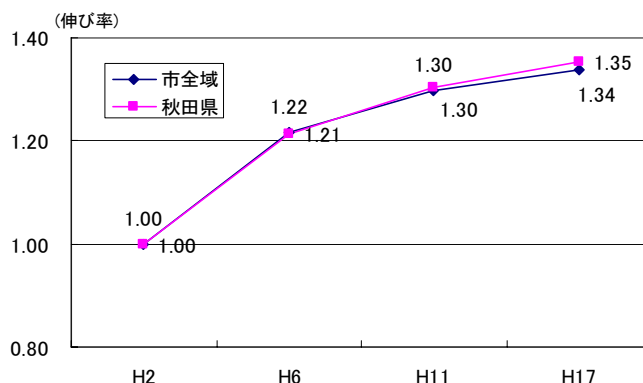


図 2-34 自動車保有台数の伸び率

(2) 発生集中交通量

- ・横手市の発生集中交通量をみると、平成11年をピークに鈍化傾向となっている。
- ・しかし、1人当たりの発生集中交通量をみると、増加傾向にある。

資料:道路ポケットブック
※平成2年を1.0としている

表 2-3 発生集中交通量の推移

	H2	H6	H11	H17
市全域	2,734	3,040	3,251	3,223
横手	1,250	1,367	1,448	
増田	211	213	255	
平鹿	307	407	356	
雄物川	209	241	297	
大森	179	172	195	
十文字	366	397	451	
山内	95	118	118	
大雄	117	125	131	

単位:百 T.E
資料:道路ポケットブック

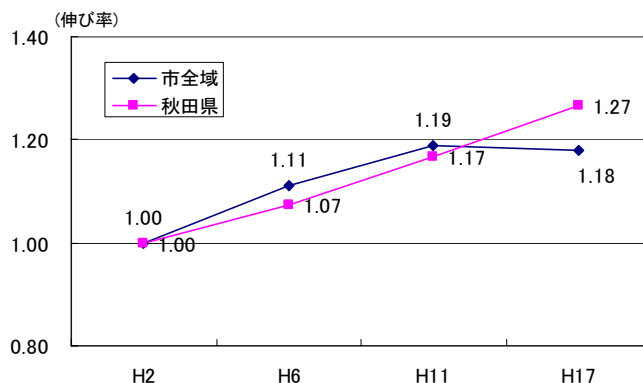
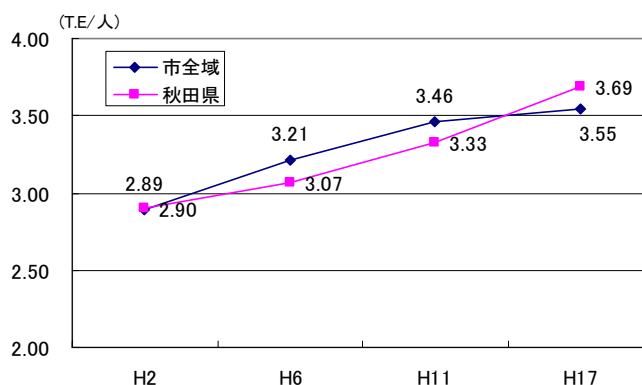


図 2-35 発生集中交通量の伸び率



資料:道路ポケットブック
※平成2年を1.0としている

資料:道路ポケットブック、
国勢調査(15歳以上の人口)

※H6はH7国勢調査、H11はH12国勢調査の年齢別人口(15歳以上)を用い算出している

図 2-36 1人当たりの発生集中交通量の伸び率

(3) 自動車交通流動

- ・横手市の自動車交通流動をみると、横手地域を中心とした分布交通となっており、横手地域関連の平成 11 年から平成 17 年の伸び率は高い。(東北管内 H17/H11=1.08)。
- ・また、横手地域内々(416 百トリップ)、十文字地区内々(118 百トリップ)の交通が多い。

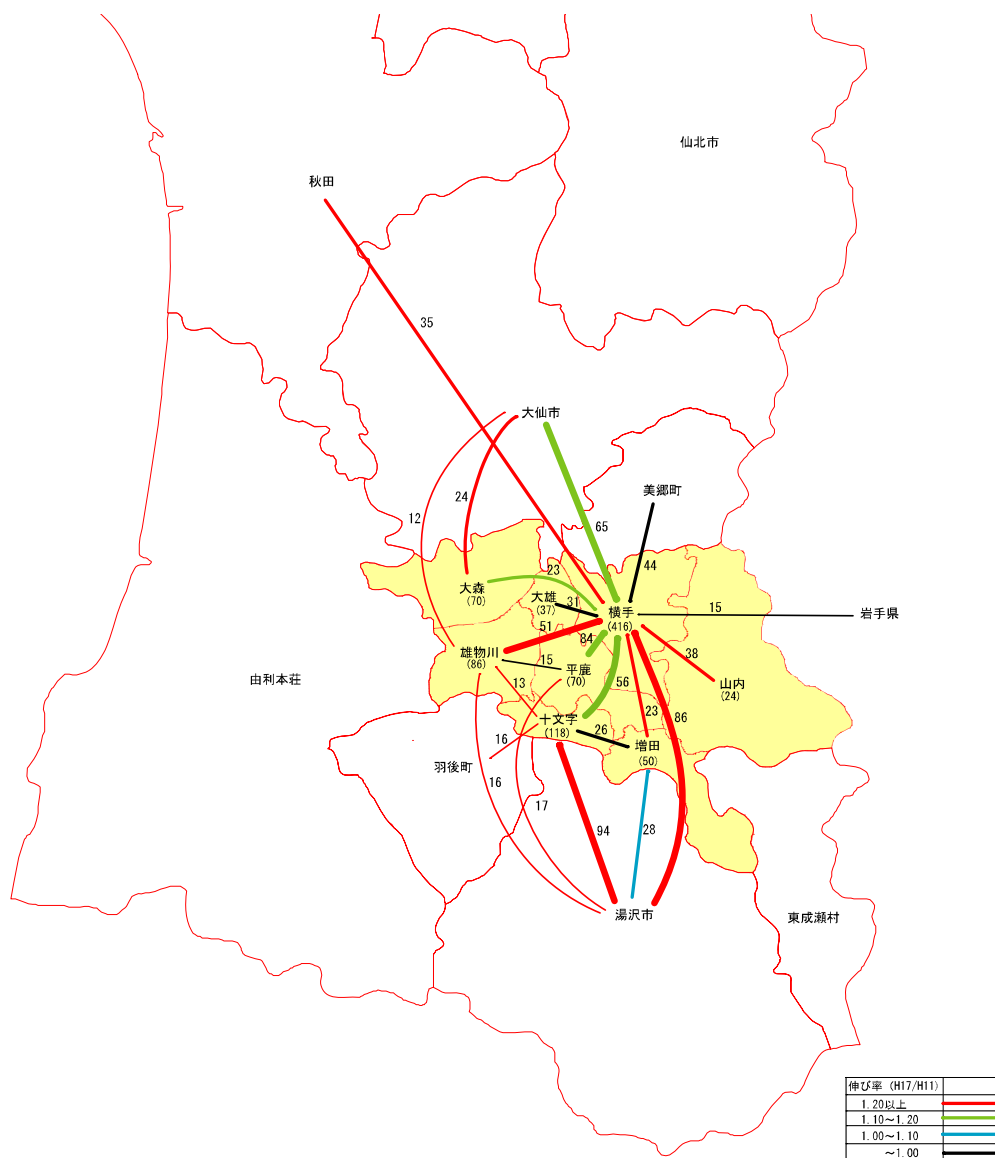


図 2-37 横手市関連分布交通量

単位: 百トリップ
 10 百トリップ以上を表示
 ()内は内々交通量

(4) 路線別交通指標

① 12 時間交通量

- 横手市の交通量をみると、骨格となる一般国道 13 号、一般国道 107 号の交通量が多く、100 百台/12h 以上となっている。
- 他の路線をみると、一般国道 342 号、(主)横手停車場線、(主)横手東由利線等で 50 百台/12h を超える区間もみられるが、概ね 50 百台/12h 以下となっている。

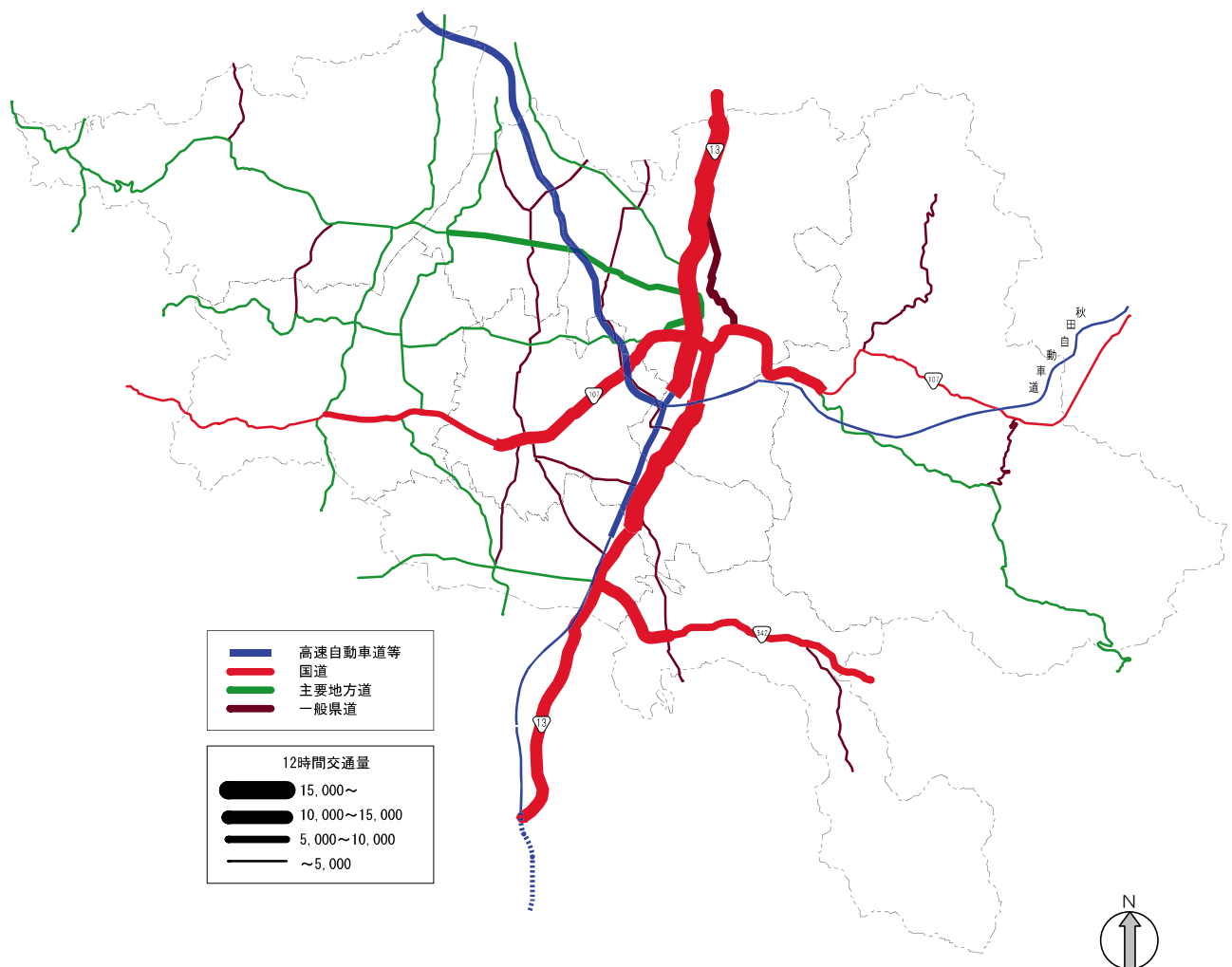


図 2-38 12 時間交通量図

資料: H17 道路交通センサス

② 混雑度

- ・横手市の混雑度をみると、一般国道 13 号の2車線区間、(主)横手大森大内線等で混雑度が 1.25 以上となっている。
- ・他の路線をみると、一般国道 107 号、(主)大曲横手線等で 1.00 を超える区間もみられる。

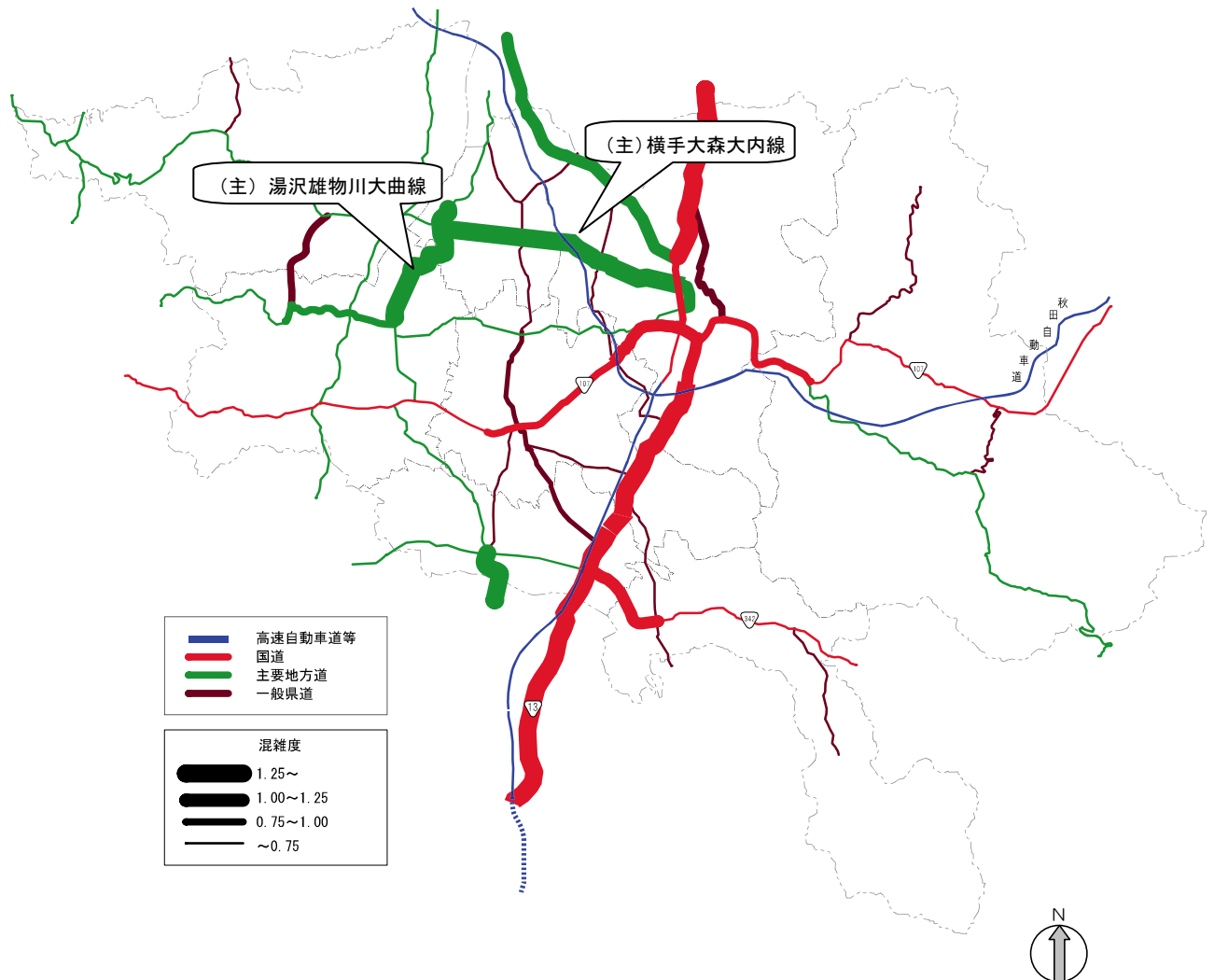


図 2-39 混雑度図

資料: H17 道路交通センサス

③ 混雑時旅行速度

- ・横手市の混雑時旅行速度をみると、ほとんどの区間で 30km/h となっている。

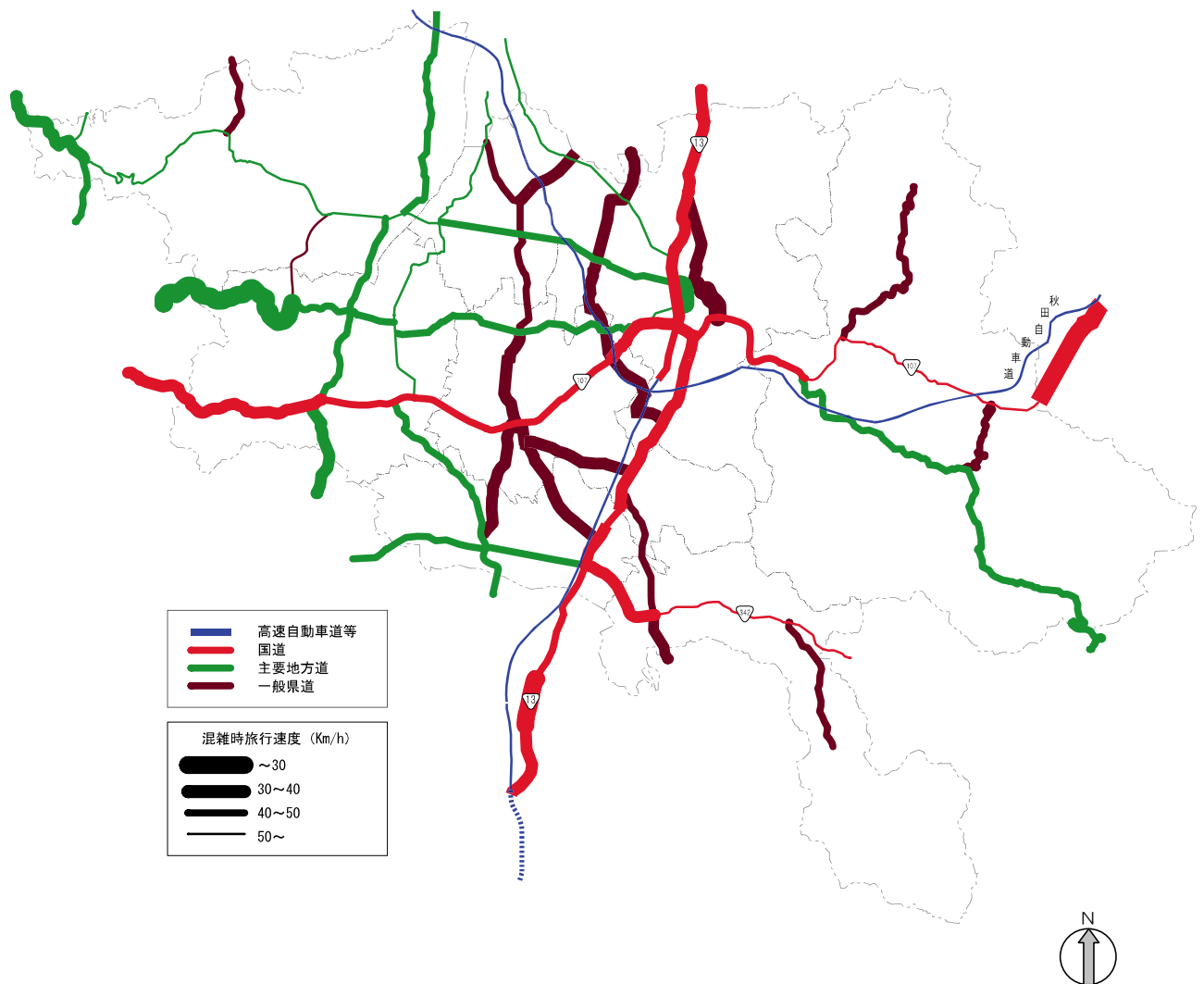


図 2-40 混雑時旅行速度図

資料: H17 道路交通センサス

(5) 渋滞箇所

- ・一般国道 13 号との交差点である、御所野交差点、美砂古交差点、及び、石成交差点が渋滞ポイントとなっている。

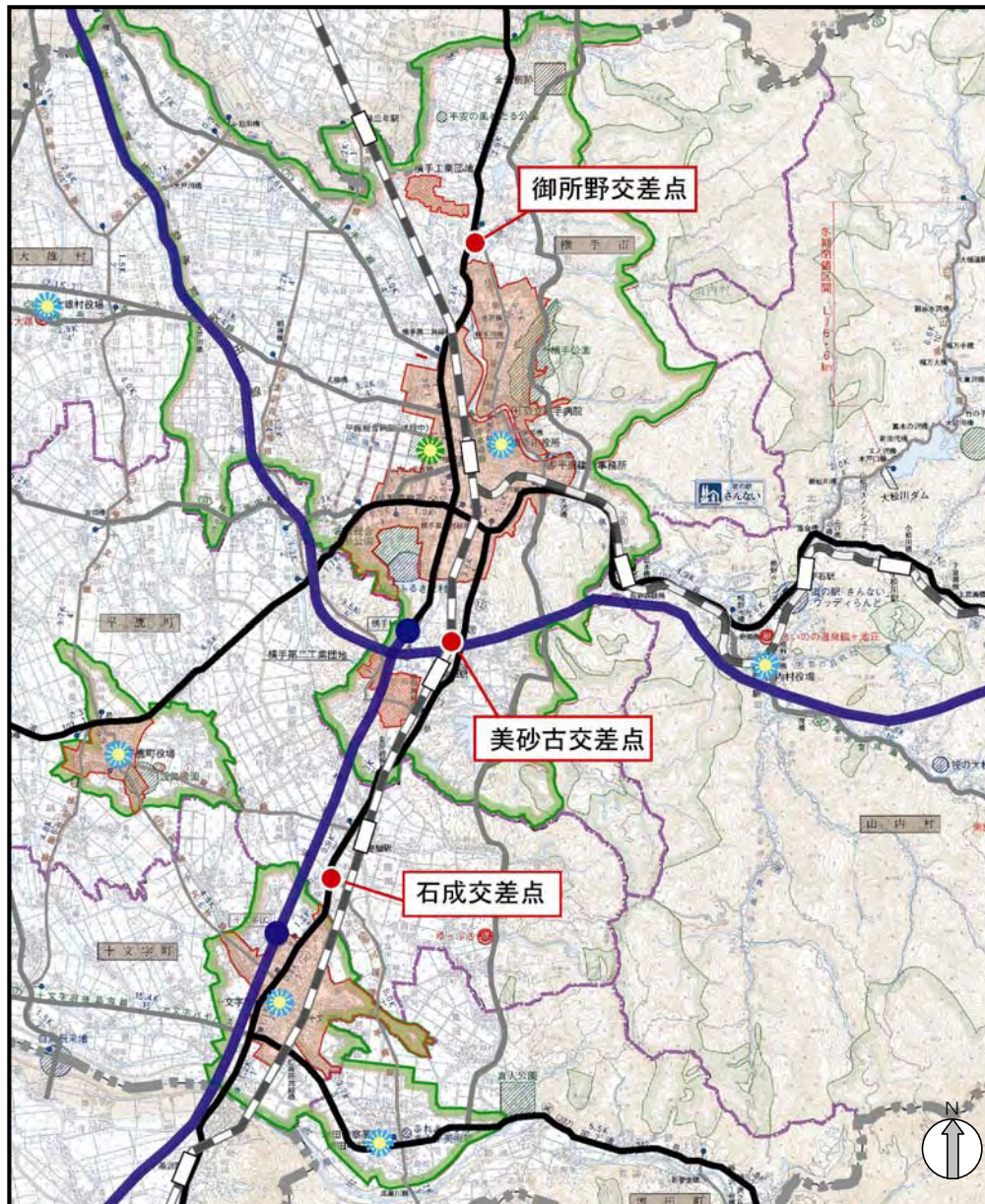
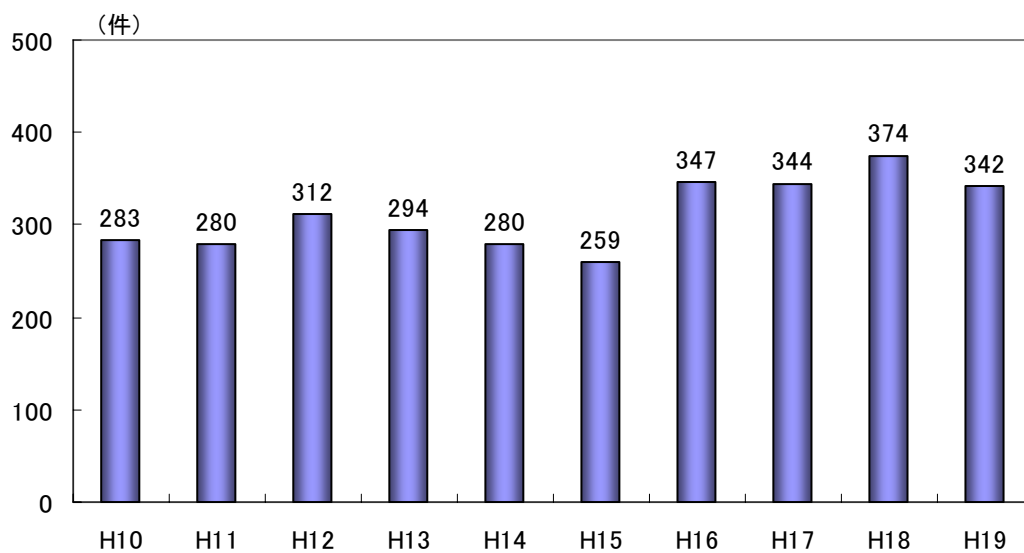


図 2-41 渋滞箇所位置図

(6) 交通事故

① 交通事故の推移

・交通事故件数の推移をみると、概ね 350 件/年となっており、横ばい状態となっている。



※平成16年以降は旧増田警察署管内の増田町、十文字町、東成瀬村を含む

図 2-42 交通事故件数の推移

資料:横手警察署

② 年齢別にみる交通事故

・65 歳以上の高齢者の事故件数、及び、死傷者数は、約 2 割を占める。

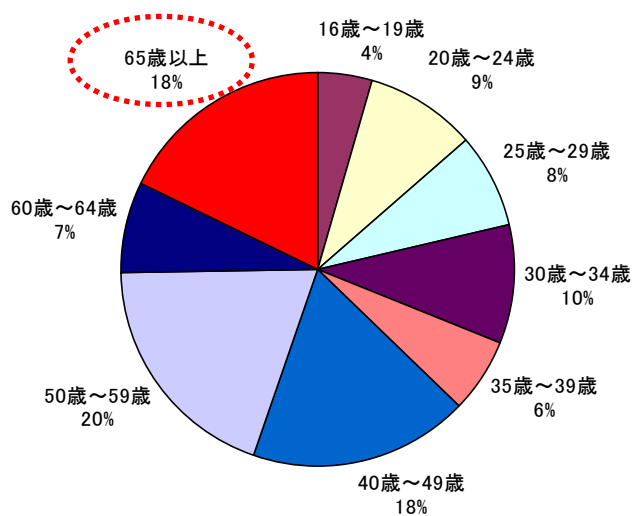


図 2-43 年齢別交通事故件数の割合(H19)

資料:横手警察署

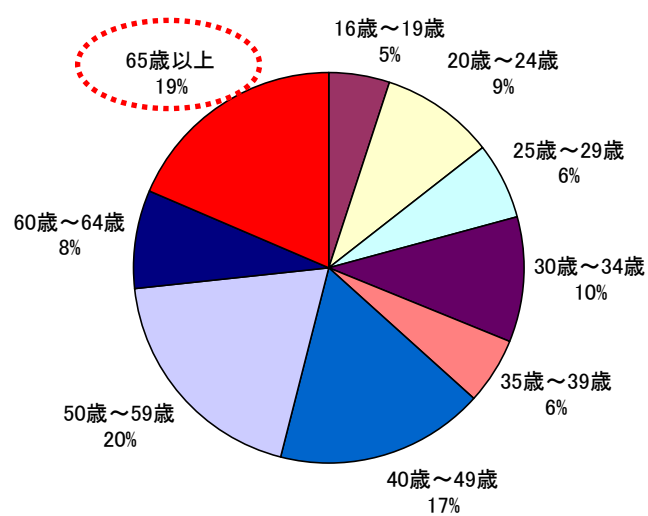


図 2-44 年齢別交通事故死傷者数の割合(H19)

資料:横手警察署

③ 高齢者死傷事故原因

・横手市の高齢者の死傷事故原因は運転中が最も多く約 4 割である。

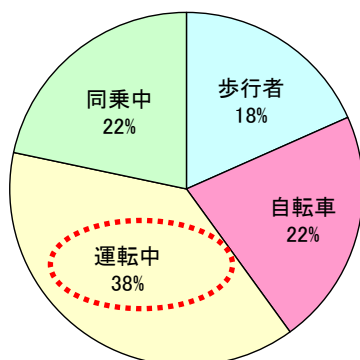


図 2-45 横手市の高齢者事故原因(H19)

資料:横手警察署

④ 子供(中学生以下)の被害状況

・横手市の子供の被害状況をみると、10～20 件/年となっている。

・事故原因をみると、歩行中では、「とびだし」、「無過失」、自転車では、「横断不適」、「無過失」が多い。

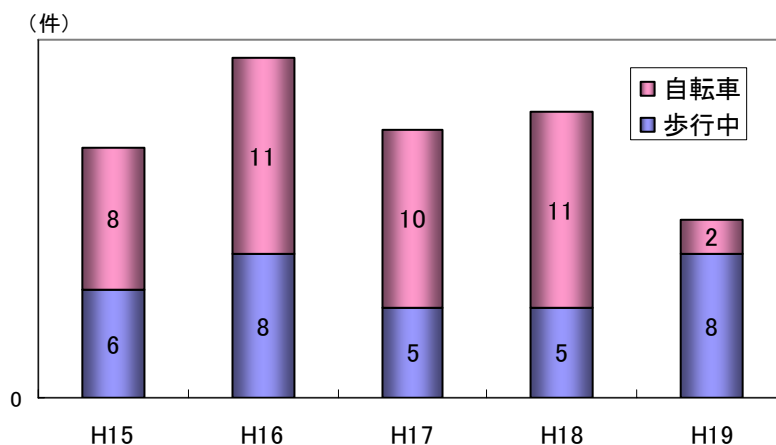


図 2-46 子供の被害状況

資料:H20 横手市交通安全実施計画

表 2-4 子供の事故原因(歩行中)

	とびだし	直前横断	路上遊戯	その他	無過失	計
H15	2	3	0	0	1	6
H16	3	2	1	0	2	8
H17	3	1	0	0	1	5
H18	3	0	0	0	2	5
H19	0	2	0	2	4	8

資料:H20 横手市交通安全実施計画

表 2-5 子供の事故原因(自転車)

	横断不適	右左折不通	右側通行	その他	無過失	計
H15	3	0	3	0	2	8
H16	2	0	0	3	6	11
H17	2	0	1	2	5	10
H18	0	0	0	4	7	11
H19	0	0	0	1	1	2

資料:H20 横手市交通安全実施計画

⑤ 路線にみる交通事故

・路線別に交通事故件数、及び、死傷者数をみると、国道のほか、(主)横手大森大内線、(主)十文字羽後鳥海線等が多い。

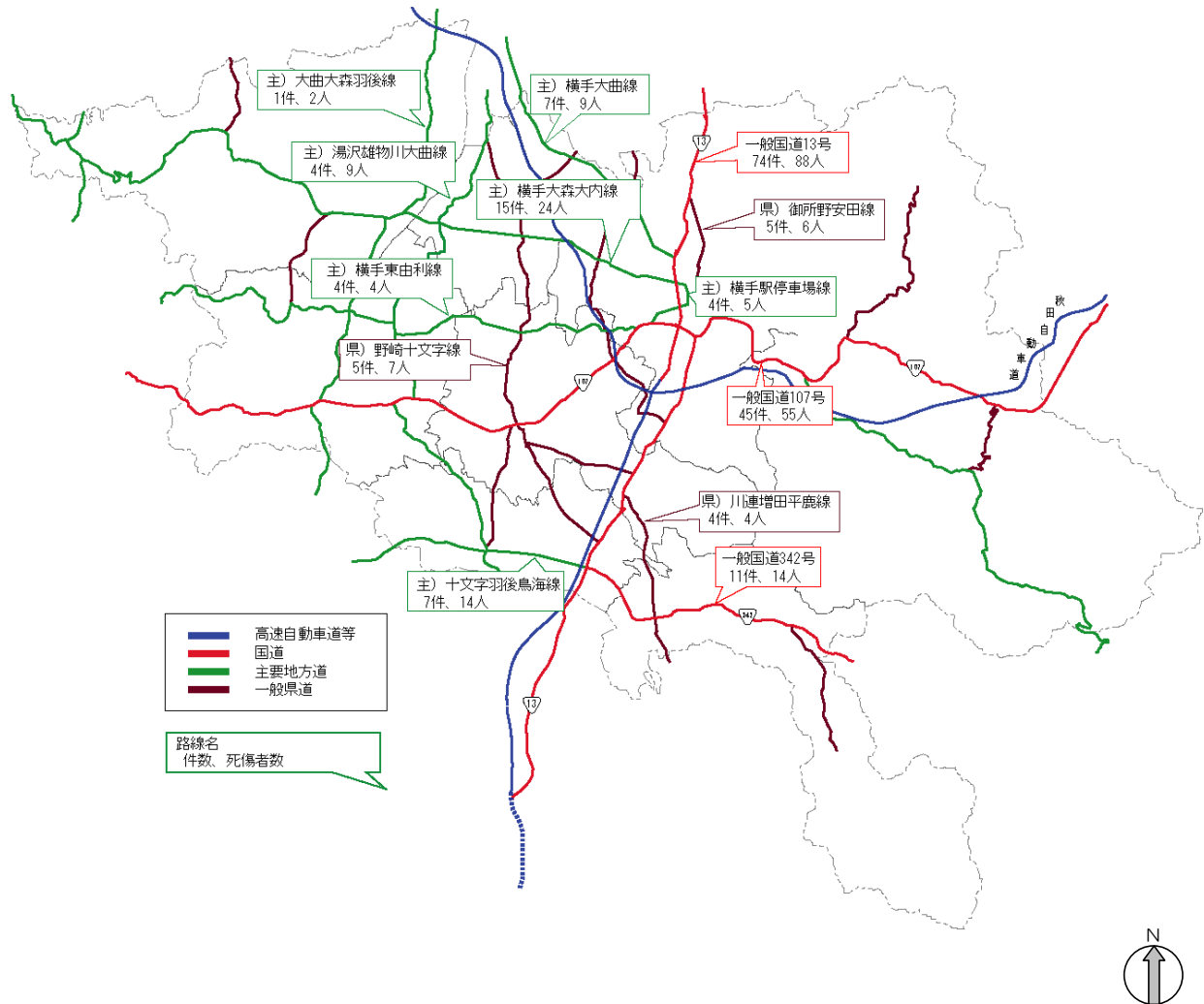


図 2-47 路線別事故件数・死傷者数(H19)

資料:横手警察署